

パブリックコメント(意見募集)実施結果の概要

事案名	第3次光市生涯学習推進プラン(素案)に対する意見について
募集期間	令和3年10月5日(火)～令和3年11月4日(木)
担当課	市民部 地域づくり推進課
(問合せ)	電話 0833(72)8880 FAX 0833(72)8133 電子メール chiikizukuri@city.hikari.lg.jp

▼ 募集の趣旨

このたび第3次光市生涯学習推進プラン(素案)がまとまりましたので、パブリックコメント(意見募集)を実施しました。

パブリックコメントは、計画等の立案過程における市民参画を進めるとともに、説明責任を果たすことで、市政運営における公正性の確保及び透明性の向上を図るものです。光市では、市民の皆様のご意見・ご提言を、より反映させた計画づくりとするため、計画の案を公表し、これに対する意見を募集しました。

▼ 意見を提出できる人

- 1 光市に住所がある個人又は市内に事業所を有する法人・団体
- 2 光市に通勤又は通学している人

▼ 意見提出者数及び提出件数

(1)提出者数 3人 提出件数 13件

(2)提出方法

- ア 窓口に持参 1件
- イ 郵送 0件
- ウ ファクシミリ 0件
- エ 電子メール 2件

(3)提出者区分

- 光市に住所がある個人 2人
- 光市に勤務先がある個人 1人

▼ 意見の計画への反映状況

ご意見の内容を整理検討した結果、計画案の修正は行っておりませんが、反映されなかったご意見についても、その趣旨を十分に踏まえながら計画を進めていくこととします。

▼ 提出された意見の概要と市の考え方

◆1 計画の内容について(意見数:9件)

No.	意見等の概要	考え方(対応)
1	専門用語、行政用語が多数見受けられるため、用語解説を掲載してはどうか。	資料編に用語解説を掲載する予定としています。
2	計画の様式、体裁等について、 ① 年数表記は西暦元号併記又は西暦表記に統一してはどうか。 ② 時系列を示す場合、年表を用いてはどうか。 ③ 数値の増減、推移比較する場合は、グラフ等を用いてはどうか。 ④ 地域や地形は、地図や図等で示してはどうか。 ⑤ 図表等には通し番号を付記してはどうか。	様式、体裁等については、以下のとおり整理しています。ご意見は今後の参考とさせていただきます。 ① 計画期間を超える年号を表記する場合は、西暦と(元号)を併記し、それ以外は元号のみとするなど、一定のルールに基づき表記しています。 ② 年表を用いるほど、内容が込み入った箇所はないと考えています。 ③ 人口の動向など、グラフ表示が必要な箇所については、必要に応じて、グラフ等を用いています。 ④ 地図等が必要な箇所はないと考えています。 ⑤ 図表と説明文章が近接し、内容が把握可能であることから、通し番号については、特段に付記していません。
3	光丘高等学校移転後の利用対策について、体育施設や教育施設などとして再利用してはどうか。	光丘高等学校は、県の施設であることから、その活用について本プランに盛り込むことは困難です。

4	<p>国・県の動向や本市の現状と課題、これまでの取組について、年表表記にしてほしい。</p>	<p>現状でも国・県・本市のこれまでの動向や施策について、実施年の表記も含め時系列に沿ってお示しておりますので、ご指摘のような変更は考えておりません。</p>
5	<p>生涯学習関連施設の現状について、各施設の市内の位置等の情報が不足しているので追加してほしい。</p>	<p>この項は、本計画に関連し、各施設が生涯学習に果たす役割等についてとりまとめたものであり、施設の位置といった基本情報を加えることは考えておりません。</p>
6	<p>市民の4割が回答していない市民アンケートを以って計画を作成しているのであれば甚だ疑問に感じる。</p>	<p>本計画は、アンケート以外にも「ひかり市民活動ネットワーク会議」や「光市社会教育委員会会議」により、様々な視点から現状と課題を分析し、ご意見を伺いながら策定を進めています。</p>
7	<p>事業指標、成果指標を考える上で、近況値や目標値だけではなく、過去数値や第2次計画の数値、第2次からの削除案件や継続案件、新規案件を同時に確認できるよう明示すべきではないか。</p>	<p>本計画の第2章において、第2次光市生涯学習プラン策定時の近況値や目標値を掲載するとともに、第2次プランの成果を十分検証した上で、計画期間(令和4年度～8年度)中に進捗を評価すべき指標や目標値を設定しています。</p>
8	<p>PDCA サイクルが図示されているが、1サイクル期間が不明なので明示してほしい。</p>	<p>PDCAサイクルについては、会計年度ごとに事業の検証を行うことにしていますが、期間については明示していません。</p>
9	<p>市民自らが担い手として地域活動に主体的に関わることで当事者意識を高める必要があることから、地域の課題を自ら見つけ、地域へ貢献してもらうための手段として65歳での地域の変化を学ぶ義務教育の実施を提案する。学ぶ機会を提供するだけでなく、課題解決に向け、協働・連携の重要性を理解し、実践してもらいたい。</p>	<p>本計画は生涯「学習」推進プランであり、義務「教育」という要素を盛り込むことは考えておりませんが、市民自らが担い手として地域活動に主体的に関わることや、課題解決に向けた協働・連携の重要性については認識しておりますので、基本方針Ⅲ「すすめる」の中での取り組みを検討いたします。</p>

◆2 計画以外の部分について(意見数:4件)

1	<p>パブリックコメント以外の手法として、地域住民や関係者、専門家から意見を聴取してはどうか。</p>	<p>市内の生涯学習関連所管で構成される「光市生涯学習市内推進本部会議」を始め、「ひかり市民活動ネットワーク会議」や「光市社会教育委員会会議」からご意見、ご提言をいただきながら、計画策定を進めています。</p>
2	<p>4つの計画に対する意見募集の期間が重複した1か月間であり、内容の精査、意見作成の期間としては不十分ではないか。</p>	<p>30日間の募集期間は「光市パブリックコメント制度実施要綱」に基づき、計画策定スケジュールなども踏まえて、市民等が意見を提出するために必要と思われる期間を設定したものです。</p>
3	<p>意見募集について、新聞紙面等に掲載することは考えられないか。</p>	<p>意見の募集については、主に広報紙やホームページを通じて行っていますが、報道発表も行っているため、新聞紙面に情報が掲載される場合もあります。</p>
4	<p>意見募集した結果の分析とともに、状況について示してほしい。</p>	<p>意見募集の結果のほか、提出された意見の概要と市の考え方については、広報紙とホームページで公表します。</p>